

2026年6月9日

各位

三井住友信託銀行株式会社

Keppel Education Asset Fund II, LP への出資決定について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:米山 学朋、以下「当社」)は、シンガポールに本社を置く Keppel Ltd.(ケッペル社)が運営するプライベートアセットファンド Keppel Education Asset Fund II, LP(以下「KEAF II」)への投資を決定し、出資契約を締結しましたのでお知らせします。

KEAF II は、シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国等の地域において、K-12 インターナショナルスクール(幼稚園から高等学校までを対象とする教育機関)、高等教育機関(大学等)、および学生向け専用住宅等の教育関連施設への投資を行うファンドです。

KEAF II は、ケッペル社が有するインフラ、不動産、クレジット分野等における投資運用の専門性および、強固な地域ネットワークを活用し、教育関連施設への投資および運営を行います。2025年の1stクローズ以降、KEAF IIの運用資産残高(※)は2025年12月末時点で約26億SGD(シンガポールドル、約3,200億円)に達しており、さらに38億SGD(約4,600億円)超の有力な投資パイプラインを有しています。

教育関連施設は、アジア太平洋地域(シンガポール、オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国等)における質の高い教育に対する需要拡大を背景に、市況変化に対する高いレジリエンス(耐性)を有する資産として広く評価されています。KEAF II は、実績あるインターナショナルスクール運営事業者と提携し、これら事業者との長期賃貸契約を基盤として、投資家に安定的なリターンを提供することを目指しており、本件投資対象資産は、インフラ特性を有する新たなアセットクラスとしても注目されています。

三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパス(存在意義)に掲げ、持続可能な社会インフラの整備に資する投資活動を推進しています。今回の投資を通じ、日本を含むアジア圏での外国人労働人口増加・高度教育の需要増加に対応するための教育インフラ整備を支援していきます。

【KEAF IIの概要】

ファンド名	Keppel Education Asset Fund II, LP
運用者	Keppel Fund Management Limited
投資領域	シンガポール・オーストラリア・ニュージーランド・日本・韓国等の地域におけるインターナショナルスクール等のキャンパス・学生向け専用住宅

(※)契約済の投資家コミットメントを裏付けに、今後投資を予定する資産の残高を含む。

以上